

梅雨入りしてから連日の晴天。九州北部のとあるダムでは貯水率が15%前後というニュースがありました。水不足が心配される中、ここに来てようやくまとまった雨が降るようになりました。水泳の時期と重なっているのも、子どもたちはちょっと残念そうです。今日を含め1学期もあと14日。楽しい夏休みは目前です。



【児童生徒の「分かる！できる！」を支える授業・指導の工夫と改善】

「子どもたちの学力向上を含む自立をうながす」ことを共通認識とし、本校職員は日々指導に励んでいます。どのように「学力向上」を図り、「自立」を促すのか、その基本は一人一人の職員の「授業力」を向上させることだと考えます。

そこで、本年度も職員全員が授業や指導における課題解決を図る「一人一研究」に取り組めます。

具体的には、

1 研究授業期間を設定し、基本的には全員が授業を公開します。公開された授業について、協議を行い、成果や課題を明確にし、改善策を探ります。

2 美郷北式「学力向上ジャスト3」を徹底します。

美郷北式「学力向上ジャスト3」とは

① 毎時間、めあてとまとめを板書する。

- 「この時間で何を学ぶのか」「この時間でどんなことが分かったか」を子どもにはっきり示します。

② 毎時間、子どもの理解度を確認する。

- 授業の目的にあった適用問題で理解度を確認します。
- 理解が不十分な時は、次の授業・パワーアップタイム・ぐんぐんタイム等で補充指導を行います。

③ 毎時間、アウトプットの時間を設定する。

- 自分の考えや学びを外部に表出させることは、知識やスキルを確実に身に付け、自分のよさの発見につながります。

子どもたちと同様に職員も学び続けます。子どもも先生も共に成長する美郷北学園を目指します。

歯の保健指導

幼稚園、1、4、7年を対象に行いました。ねらいは以下の2つ。

- むし歯の原因や歯の健康について理解し、進んで自分の歯を大切にしようとする態度を養う。
- 自分の歯みがきの仕方を見直し、自分にあった正しい歯みがきの方法を習得する。

歯科診療所の歯科衛生士さん・美郷町保健師さんをお招きして、歯についての話をし、その後カラーテスターによる染め出しを行って磨き残しの状況をチェックしたり、正しい歯のみがき方について指導を受けたりしました。

最近、子どもの「口腔崩壊」という言葉を耳にします。極端に虫歯が多い状態の子どもをさしてそのように呼ばれているようです。「歯や頭の痛みで、給食も食べられない。」「歯ぐきから上の部分がなくなり、根だけになっている。」といった子どもたちが相当数いるそうです。子どものころから歯を大切に、一本でも自分の歯を多く残していくことが人生100年時代を迎える子どもたちには大切です。

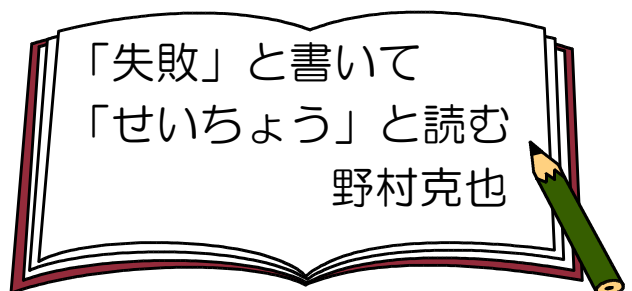


行事予定

(夏休み)



- 【7月】
- 19日(金) 終業の日
- 20日(土) 県中学校総合体育大会
陸上・ソフトテニス～22日
- 23日(火) 町小体連水泳大会
- 24日(水) サマースクール(7～9年)
～26日
- 27日(土) 豊見城市交流事業～29日
- 【8月】
- 2日(金) 登校日
豊見城市交流事業(受入)
～4日
- 3日(土) うなま地藏夏祭り
- 6日(火) 職場体験(8年)～7日
- 7日(水) 子ども議会(9年)
- 20日(火) 登校日、町芸術鑑賞教室
- 21日(水) ようこそ先輩
サマースクール(7～9年)
～23日(金)
- 27日(火) 始業の日



ホームページをご覧ください

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>

または、美郷町立美郷北学園 で検索

